

地域包括支援センター課題対応取組み報告書

名称 阿倍野区中部地域包括支援センター

カテゴリー	<input checked="" type="checkbox"/> 地域や専門職とのつながり等	<input type="checkbox"/> 社会資源の創設(居場所づくり等)
	<input type="checkbox"/> 認知症高齢者等の支援	<input type="checkbox"/> 自立支援・介護予防・健康づくり
	<input type="checkbox"/> その他()	
活動テーマ	共に暮らす視点を持ったネットワークづくり	
地域ケア会議から 見えてきた課題	<ul style="list-style-type: none"> ・8050問題の50への対応が不十分。 ・地域の支援者や住民等の認知症や精神疾患に対する認識に偏りがある。 ・地域からは早期相談を受けるが、何らかの支援機関と繋がっている方が、重篤化してから相談が入ることがある。 	
対象	地域住民及び地域の支援者、関係団体等	
地域特性	認知症に関しては、毎年継続した取り組みができており理解も深まっているが、近隣で認知症の方がいることがわかると早い段階で施設入所を求める声上がる地域もある。また、若い世代の精神疾患患者に対しては、入院を要望するような声上がる人が多い。	
活動目標	各関係機関と連携強化を図りつつ、地域の実情に合わせ共に暮らす視点を持てるような講演会や研修会を実施し、理解を深める活動をする。	
活動内容 (具体的取組み)	<ul style="list-style-type: none"> ①コロナ禍の中であったが、障がい者基幹相談支援センター等障がい関連機関、居宅介護支援事業者等と合同研修会を実施し、ネットワーク強化及び連携強化を図った。 ②地域で予定していた講演会や研修会を人数を削減し回数を増やすことで実施できた地域もあったが、場所の確保ができず実施できなかった講演会や研修会もあった。実施できなかった際には、周知用のチラシを作成し配布した。 ③地域活動がお互いの見守りにも繋がっていたが、活動の自粛等により、見守りできない状況が続いたため、周知用のチラシ等を作成し見守り訪問時に配布することで状況把握を行った。 ④毎年実施している苗代小学校・丸山小学校での認知症福祉教育は、講師の協力のもと1クラスずつ実施することで、開催することができた。講師には、自宅で家族と考える時間を持てるような内容で実施してもらい、児童の親世代にも関心を持っていただけるような内容とした。 	
成果 (根拠となる資料等があれば添付すること)	<ul style="list-style-type: none"> ①小地域ケア会議に、障がい者基幹相談支援センターに定期的に参加していただけるようになり、8050問題の50への対応時連携を図りやすくなった。 ②コロナ禍により、予定していた講演会等を開催できなかった際に、チラシや阿倍野区中部地域包括支援センター周知用パンフレットを配布するために訪問したことで、その方の在宅での生活環境等を把握することにつながり、早期対応ができたケースもあった。個別に共有を図ることでネットワークを維持できた。 ③地域活動の中止や外出を自粛される方が多かったため、見守り訪問を各地域の支援者で行うことで高齢者の現状把握をすることができた。 ④認知症福祉教育は、王子地域福祉コーディネーター・王子連合福祉部会の協力で継続実施することができた。児童が学び自宅に戻り家族と話をしてもらえるような内容で実施したことで、児童の親世代にも興味を持っていただくことができ、地域包括支援センターや地域福祉コーディネーターを知ってもらう機会になり、子ども食堂への参加にも繋がっている。 	
今後の課題	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、地域活動が大きな制約を受けている。また、生活様式の変化もあり感染予防をしながらの地域活動や講演会を行う中で、Web会議など実施しているところであるが、地域向けでWeb開催する際には、高齢者や地域住民の方々にはハードルが高く参加できない方も多いため、より多くの方に参加いただける工夫が必要である。	
※以下は、区運営協議会事務局にて記入		
区地域包括支援センター 運営協議会開催日	令和3年7月30日(金)	
専門性等の該当 (※該当個数は問わない)	<input checked="" type="checkbox"/> 地域性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続性 <input checked="" type="checkbox"/> 浸透性(拡張性) <input type="checkbox"/> 専門性 <input checked="" type="checkbox"/> 独自性	
評価できる項目(特性)	<ul style="list-style-type: none"> ・健康教育や福祉教育等、コロナ禍でも活動を模索しながら活動することができている点を評価したい。2025年問題が叫ばれているが、高齢者に対する支援は短期間で解決するものではない。このように福祉教育などを通じて子ども達への教育を行うことは重要と考える。 ・他団体との連携により、成果があがってきている。今までの地道な関係づくりが大きな成果につながっていると感じる。 	
*今後の取組み継続に向けて、区 地域包括支援センター運営協議 会からの意見		